



学会ホームページ <http://jasce.jp>

024号(2015年1月17日)

目次

2015年 年頭のご挨拶
次期大会開催地からのご挨拶
『協同と教育』への投稿募集中
会員情報の変更届け
会費の納入のお願い
学会ワークショップ 今後の予定
各地の研究会・勉強会
英語教育 Special Issues の紹介
出版情報

2015年 年頭のご挨拶

謹んで新春の慶びを申し上げます

日本協同教育学会も今年で創立11年目を迎え、いよいよ第2の10年を歩み始めます。創立からの10年の間に、協同学習に対する時代の認識は大きく変わってきました。大学教育の教育方法改善の決め手として強調されたアクティブラーニングを、初等・中等教育にも普及させるべきだろうという中教審の意向が顕わになってきました。

本会の皆様には当然のことですが、アクティブラーニングの要は協同学習です。そして、協同学習は単なる技法に終始するものではありません。その先にある生徒同士の学び合い、教師と生徒・学生との協働的な学び、教師同士の協働による高まり合いを見据え、日々の授業づくりをすすめる授業観・教育観の深化の中に、その本質はあります。表層的なアクティブラーニングを乗り越え、良質な学習活動を用意する教師としての責任は、いや増して重くなります。本会の社会的使命の大きさを改めて感ぜずにはいられ

ません。

年頭にあたり、会員の皆様のますますご健勝とご発展をご祈念し、ご挨拶といたします。どうぞ本年も本会の活動へのご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(学会長 関田一彦)

次期大会開催地からのご挨拶

寒中、お見舞申し上げます。

本年もよろしく申し上げます。

さて、第12回全国大会は10月17日(土)と18日(日)の両日、久留米大学御井キャンパスで開催します。2004年11月に第1回大会を開催して以来、2回目の大会となります。再び久留米でお引き受けすることになりましたこと、これもご縁と嬉しく思っています。多くの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

現在、有志で意見交換をしながら、大会の全体像を構想しているところです。近々、準備委員会を立ち上げ、大会までのスケジュールや各種の企画を詰めていく予定にしています。現時点では昨年度とほぼ同じ日程が想定されます。最も関心が高いと思われる、発表要旨(予稿)のメ切は7月末を予定しています。詳細が決まり次第お知らせいたしますので、今しばらくお待ちください。

(安永悟 久留米大学文学部)

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けておりますが、投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』第12号(2015年発行)に

向けての積極的な投稿をお待ちしております。

会員情報の変更届け

年度がわりの異動や転居などにもなっており、所属・住所・メールアドレス等の変更があった場合、すみやかに会員情報変更をお願いします。届け出は学会ホームページの「会員情報変更フォーム」から随時可能です。

<http://www.jasce.jp/php/1044form.php>

会費の納入のお願い

今年度(2014年4月～2015年3月)会費支払いがまだの方は早急の納入をお願いいたします。3年度を超えて会費が未納となった場合、自動的に退会扱いとなりますのでご注意ください。

学会ワークショップ 今後の予定

● ベーシック 3月21日(土)～22日(日)
大分県社会教育総合センター(別府市)

創価大学(八王子市)

● アドバンス 3月21日(土)～22日(日)
創価大学(八王子市)

※ベーシック(別府市)に加え、ベーシックとアドバンスが創価大学で追加開催されることになりました。お申し込みは、それぞれの「参加申し込みフォーム」からお願いします。

<http://www.jasce.jp/1031workshophtml>

参加申込者が一定数に達しない場合、開催を中止することがあります。逆に定員数を超えた場合、開催日まで日数があっても申込み受付を終了する場合があります。定員数は会場によって異なりますが、通常は定員を24名とし、最低10名以上の参加申込みで開催としています。

各地でワークショップや研究会が精力的に行われています。学会HPでご確認ください。また、会員による実践研究会等の開催がありましたら広報委員会 (koho@jasce.jp) まで情報をお寄せください。

各地の研究会・勉強会

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇12月例会の報告

2014年12月17日(水) 19:00から名古屋大学教育学部で開催されました。テーマ:「主体的な学びを目指した高校数学の授業改善に取り組んで一10か月目の実践報告と現状の課題一」。報告者:内藤俊一先生(東海高校・学習指導部長)。今年度になってから開始した数学でのアクティブラーニングの試みの報告でした。また、文部大臣の中教審諮問が今後の学校現場に与える影響に対する懸念から、学びの質の追究を一層進めるべきことが議論されました。

◇次回の開催日

次回の日程は調整中ですが、2月または3月に開催します。お申し込み、ご連絡は水野正朗まで。

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第2回研究会の報告

2014年11月28日(金)、グランフロント大阪北館2階、The Lab アクティブスタジオで開催されました。東京、岡山、京都、大阪方面から21名の方が参加されました。

今回は、大阪労災看護専門学校の木村先生の授業「看護技術演習」について、4人のグループ編成で建設的討論法を用いて検討した後、全員で意見交換しました。木村先生はさっそく授業案の作成に活かされたとのこと、今後の実践報告が楽しみです。



◇次回の開催日

1月は予定の30日(金)⇒1月31日(土)18時~20時に変更して開催いたします。ご参加をお待ちしております。お申し込み、ご連絡は緒方巧(梅花女子大学)まで。

(t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇平成26度第3回研究会の報告

第3回研究会は、2014年12月6日(土) 14時00分~17時30分、岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(いつも通り)で開催しました。発

表者:清水衡先生(滋賀県大津市立瀬田小学校)、教科・教材:算数「場合を順序よく整理して」、学年:小学6年生。学習指導案と授業の逐語録等を資料として授業研究を進めました。

◇次回以降の開催日

第4回の開催予定は3月7日(土)です。会場は第3回と同じです。岡山市内公立中学校の先生による数学の授業実践のご発表です。お申し込み、ご連絡は高旗浩志まで。

(takahata@okayama-u.ac.jp)

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇12月研究会の報告

2014年12月13日(土)、初年次教育学会の協力のもと、日本リメディアル教育学会九州・沖縄支部会第7回大会として開催しました。

◇次回のご案内

次回の開催は1月31日(土)です。看図アプローチの鹿内信善先生(北海道教育大学)をお招きして開催します。参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。(http://yasunaga.me/wiki.cgi)

その他のご連絡は安永悟まで。

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

● Special Issues on Cooperative Learning in Language Education の紹介

英語教育のオンラインジャーナル「TESL-EJ」で Cooperative Learning in Language Education という Special Issue (Guest Editors: Kumiko Fushino & George Jacobs) が発行される運びになりました。TESL-EJ は英語教育の専門誌で、使用言語は英語です。オンラインジャーナルではありますが、知名度の高い、査読付きの国際誌で

す。英語教育で協同学習を実践されている方は、ふるってご投稿下さい。

プロポーザルの締め切りが2月15日、それに通った方のフルペーパーの締め切りが5月2日、発行は11月を予定しています。(発行は来年にずれ込むかもしれませんが)。詳しくは以下のアドレスの募集要項をご覧ください。

<http://www.tesl-ej.org/wordpress/issues/volume18/ej71/ej71fromed/>

● 出版情報

○ 授業づくりネットワーク No.16

一特集:「協同学習」「学び合い」「学びの共同体」その良さと実践

「協同的な学びのある授業」をめざすために何が必要か。多様な校種における様々の実践を手がかりに、教室の学びが協同的になるためのポイントを検討しています。ネットワーク編集委員会(編)。学事出版。

